

⑦4 海を越えたランドセル

六年間、子どもたちと一緒に小学校に通った、色とりどりのランドセル。役目を終えたランドセルを、アフガニスタンの子どもたちに贈る活動を続けている日本人写真家がいる。

彼は、食べ物がなく餓死していく子どもたちを目の当たりにしたとき、非情な世界と何もできない自分に、気持ちの置き場を失くしたそうだ。

「お前は写真家じゃないか。写真を撮ることは、お前にしかできない仕事だろう」。現地の人にそう言われ、戦禍と貧困の中で生きる子どもたちの写真を撮り続けた。

小学四年生の国語の教科書に『ランドセルをこえて』が教材としてある。写真に写るアフガニスタンの子供たちは、輝いた瞳でランドセルを抱えている。

ひと所に留まろうとしない内堀タケシさんは、そんな子どもたちの笑顔が見たくて、写真家としての仕事を続けているのだろう。写真はフィリピンの小学校です。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診